

年頭の ごあいさつ



横河電機健康保険組合

理事長 山崎 正晴

新年明けましておめでとうございます。

事業主ならびに被保険者の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまも新聞等ですでにご存知のように、現在、健康保険組合を取り巻く環境は、世界的な景気後退を背景とした保険料収入の減少、進みゆく少子高齢化による医療費の増大、ここ数年の医療保険制度の大幅な改正等により非常に厳しい状況が続いております。加えて昨年5月には、協会けんぽの国庫負担肩代わりを含む法案が可決、成立し、健保財政はますます困窮の度を増してきており、わが国が世界に誇る「国民皆保険制度」の存続さえ危ぶまれている状況といえます。

そのようななか、当健康保険組合もこれまで積立金という貯金を取り崩しながら赤字運営を続けてまいりましたが、いよいよ貯金がなくなってきたことで、昨年2月の組合会では、22年度から3年間にわたり段階的に保険料率を引き上げることでご承認をいただき、今年度は56/1000から64/1000に上げさせていただきました。支出の方でもジェネリック通知等の医療費削減に向けた新たな保健事業に取り組む一方、事務所費の削減等の改善も重ね、事業運営を進めてきましたが、残念ながら実質保険料率は、現在72/1000近辺を推移しています。そのため、改定2年目にあたる平成23年度においても、適正な保険料率に上げざるを得ない状況です。正式には2月開催予定の次回予算組合会で承認をいただいた後、けんぽだより等でご報告を致しますので、ご理解の程、宜しくをお願いを致します。

このように、財政的には非常に厳しい状況ですが、特定健診・特定保健指導やがん検診等の疾病予防のための補助にも力を入れ、医療費の適正化に取り組んでおりますので、皆さまも本年の健診のご案内が届きましたら、ぜひ積極的に受診されるようお願い致します。

また、昨年2月から始めていますジェネリック医薬品の使用促進のための通知につきましても、家計に優しい医薬品であることをご理解いただき、ぜひ医師・薬剤師にご相談いただきますようお願いを致します。

新しい年を迎え、ますます厳しい状況になることが予想されますが、職員一丸となり、皆さまの健康の維持・増進の担い手として努力するとともに、これからも組合財政の健全化と健康づくりへの取り組みをいっそう強化してまいりますので、これまで同様、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

最後に、皆さま方とご家族の方々の益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成23年 元旦

